

殺虫剤防除例		月 旬	対象病虫害	効果のある薬剤	散布濃度	注意事項
定植前			センチュウ類	ガスタード(微粒) ネマトリンエース粒剤	20~30kg/10a 20kg/10a	鎮圧散水(ガス抜き最低2回)
			コガネムシ幼虫	ダイアジノンSLゾル ダースバン粒剤	25~50倍 9kg/10a	
4			ツツジグンバイ・アブラムシ	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	モスピラン顆粒水溶剤2000倍も有効
5	中		ツツジグンバイ	アドマイヤーフロアブル	2000倍	
6	中		ツツジグンバイ・ハマキ	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	
7	中		ベニモンアオリンガ	オルトラン液剤	250倍~500倍	グンバイにも効果有り
	上		コガネムシ幼虫	フォース粒剤	9kg/10a	
8	中		ツツジグンバイ・ハマキ	ダントツ水溶剤	2000倍	
			ハダニ	バロックフロアブル	2000倍	
9	中		ツツジグンバイ・ハマキ	スミチオン乳剤	1000倍	
			コガネムシ幼虫	ガゼット粒剤	9kg/10a	

登録殺菌例	薬剤名	効果	散布濃度	適用病害
	トップジンM水和剤	予防治療効果	1500倍	褐斑病
	ゼットボルドー	予防効果	500倍	もち病
	トリフミン水和剤	予防治療効果・浸透性	3000倍	樹木(うどんこ病)広範囲病害に効果有り
	バシタック水和剤75	病斑進展阻止効果	1000倍	もち病
	マネージ乳剤	予防治療効果	1000倍	樹木(うどんこ病)
	ベルコート水和剤	予防効果	1000倍	炭疽病

1年生植出し

(施用量:10a当り)

施肥時期	肥料名(例)	施肥量	
元肥	ハイフミン特号A 又は ハイフミンハイブリッドG	300kg 100-150kg	
	溶燐 クドゲン(粒)	120kg 100kg	
	4月	ロング413(270日) 又は 営農渉外に配合を お問い合わせ下さい	100kg
春肥	5月~6月	菜種粕 (ロング使用の場合は施用せず)	120kg
秋肥	9月下旬	クドゲン(粒)	100kg

2年目~3年目

(施用量:10a当り)

施肥時期	施肥例1		施肥例2		
	肥料名(例)	施肥量	肥料名(例)	施肥量	
春肥	3月上旬	菜種粕 <5.3-2-1>	100kg	花木LP配合 <10-6-6>	120kg
	4月上旬	有機入化成マイルド <9-6-6>	80kg		
	5月上旬	IBジュニア <8-6-4>	120kg		
秋肥	5月中旬	クドゲン(粒)	80kg	IB化成S1号 <10-10-10> クドゲン(粒)	120kg 80kg
	9月下旬~ 10月中旬	IB化成S1号 <10-10-10>	80kg	IBジュニア <8-6-4>	80kg

○平戸・クルメツツジについては、上記施肥基準より、少なく施肥して下さい。

- 上記の病虫害防除は、基準的なものであり、年によって病虫害の発生時期が異なる場合がありますので、その時期にあった防除をおこなって下さい。
- 同一薬剤の連続散布は、病虫害の抵抗力を発達させる恐れがあり、同じ薬剤の連用は避け、ローテーション散布を心がけて下さい。
- 6月~9月の期間は、病虫害発生が著しいため、15~20日間隔の防除をおこなって下さい。

農薬使用留意事項

- 使用前には、ラベルをよく読んで下さい。
- 農薬は安全基準を守って使用して下さい。
- 防除時には近接作物への飛散に十分注意しましょう。
- 防除時には、必ず専用の防除衣・マスクなどを着用しましょう。
- 農薬は幼児の手の届く所には置かないで下さい。

◎JAで土壌診断を行い、施肥の合理化を図りましょう。